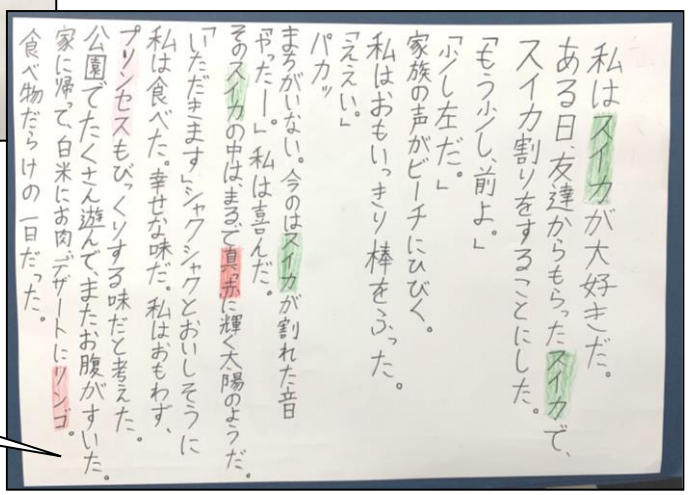
# 心のつながりシート

## 作品でつなげる心と心
## ～特別支援学校と小学校との作品交流～

絵は東京都立羽村特別支援学校の子供たちが作成しました。



私はスイカが大好きだ。
ある日、友達からもらったスイカで、スイカ割りをすることにした。
「もう少し、前よ。」
「少し左だ。」
家族の声がビーチにひびく。
私はおもいっきり棒をふった。
「ええい。」
パカッ
まちがいない。今のはスイカが割れた音
「やったー。」私は喜んだ。
そのスイカの中は、まるで真赤に輝く太陽のようだ。
「いただきます」シャクシャクとおいしそうに
私は食べた。幸せな味だ。私はおもわず、
プリンセスもびっくりする味だと考えた。
公園でたくさん遊んでまたお腹がすいた。
家に帰って、白米にお肉、デザートにリンゴ。
食べ物だらけの一日だった。

詩は、絵を見た松林小学校の６年生が作成しました。

本校では、東京都立羽村特別支援学校（以下、羽村特別支援学校）と隣接しているよさを生かし、全学年で多様な交流を行っています。６年間の交流の集大成として、羽村特別支援学校の児童が描いた作品に対し、本校第６学年児童が作品の印象を詩に表現する活動を行ってきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、直接の交流ができていませんでした。しかし、詩の活動は作品を通しての交流のため、今年度も実施することができました。

本校第６学年児童は、羽村特別支援学校の児童が作成した絵から想像を巡らし、言葉を紡いでいきました。完成した作品は、絵と詩を一緒にして、羽村特別支援学校と本校両方で掲示します。

絵と言葉で同じイメージを共有することで、互いを理解し、尊重する心を育んでいってほしいと思います。

羽村市立松林小学校